【高岡市】１人１台端末の利活用に係る計画

１　１人１台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

高岡市では、高岡市教育大綱に定める「未来創造のひとづくり・ふるさとづくり」を基本理念に、「子どもたちの連続した成長を切れ目なく支援する教育環境の整備充実」、「基礎基本の徹底と個性が輝く Society5.0 の未来を拓く学びの充実」を進める学校教育の充実を目指している。

２　GIGA第１期の総括

高岡市では、平成30年より、慶應義塾大学SFC研究所との「クラウド等を活用した教育ＩＣＴ環境整備に関する調査研究事業」を皮切りに、慶應義塾大学SFC研究所の協力の元、ICT教育を推進してきた。

令和２年度にはGIGAスクール構想の実現に向け、児童生徒等端末の導入と併せて、各学校に、ローカルブレイクアウト方式による高速大容量の通信ネットワークを整備した。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、全ての児童生徒の学びを保障するため、小学校１年生から中学校３年生の課程における各単元の授業動画を作成、児童・生徒が閲覧できるクラウド環境下にアップロードすることで自宅での学習に資する環境を構築した。

また、学校で１人１台端末を授業や研修で活用する場面が増えるように教育委員会の調査・研究事業の中のICT活用推進委員会で検討した結果をまとめた「高岡市小中学校情報活用能力の系統表」を作成し、端末の操作方法や授業での活用事例を各学校に提示した。また、NHK for Schoolの動画を活用した授業例などの研究も進めている。これらの取り組みの成果もあり、児童生徒の実態を把握するアンケートや資料の提示、調べ学習等の取り組みが増え、学習専用端末をほぼ毎日授業で活用している割合が特に中学校では 80%を越えている。

これまでの利活用により、教職員のICTスキルは向上しているが、今後、更なる教職員のICT活用指導力の向上が求められていると認識している。

３　１人１台端末の利活用方策

学校現場の困りごとを解消する ICT 支援員を継続して配置し、教職員の負担軽減を図りつつ、教育委員会が実施する、ICTを活用した指導力向上を目的とした研修の更なる充実を図る。

また、児童生徒については、GIGA 第２期の端末の更新を以て、児童生徒向けの１人１台端末環境を引き続き維持家庭への持ち帰りを継続しつつ、連絡や家庭学習等で端末を使用する機会を増やすことによってICTスキルの向上を図る。

GIGA 第２期では、より資料共有や共同編集がしやすい環境に移行する。教員に対して

は、ICT 機器を活用することで友達の考えを参照して自分の学びを見直す機会を設け、自己調整しながら学習を進めることのよさを児童生徒が感じられるような授業改善に向けて模擬授業体験や好事例の紹介等の研修の機会を増やし、ICT を活用した指導力の向上を目指していく。